

経口抗がん薬の休薬期間の確認について

～ 処方箋に記載された検査値も参考に、ご確認をお願いいたします ～

平素より、当院の院外処方箋に対する処方監査ならびに患者さんへの服薬指導にご協力いただき、ありがとうございます。S-1、カペシタビン、テモゾロミド、ロンサーフ、スチバーガ、イブランスなど、休薬期間が設定されている経口抗がん薬では、処方日数だけでなく服用・休薬スケジュールをご確認ください。適切な休薬期間の確保と、検査値を踏まえた安全性の確認が重要です。保険薬局におかれましても、下記の点をご確認いただきますようお願いいたします。

1 服用期間・休薬期間の確認 (例) S-1の場合

経口抗がん剤の投与スケジュールは、レジメンにより服用期間・休薬期間が異なります。

処方内容やお薬手帳、患者さんへの聞き取りにより、適切な 服用期間・休薬期間が確保されているかご確認ください。

S-1単独療法の一般的なスケジュール (例)



※ S-1単独療法の場合は、4週間内服・2週間休薬が一般的ですが、レジメンによっては服用期間・休薬期間が異なります。

当院のレジメン一覧について

当院で登録されているレジメンについては、当院薬剤部ホームページで公開しています。服用期間・休薬期間を含めた投与スケジュールの確認にご活用ください。



山梨大学医学部附属病院 薬剤部
抗がん剤レジメンの公開

<https://pharmacy.hosp.yamanashi.ac.jp/medical-personnel/anti-cancer/>



休薬期間が十分でない可能性がある場合は、疑義照会してください。

2 検査値の確認 (すべての処方箋に検査値を掲載しています)

当院では、すべての処方箋に患者さんの検査値を記載しています。

次コースの開始が妥当かどうか、以下の項目を参考にご確認ください。



血算	白血球・好中球・ヘモグロビン・血小板 など
肝機能	AST・ALT・総ビリルビン など
腎機能	クレアチニン・eGFR など
その他	必要に応じて、Na・K など

- 検査値の異常や、有害事象の遷延がないことを確認したうえで、次コース開始となります。
- 検査値や処方内容に疑義がある場合は、疑義照会してください。

3 服薬状況・有害事象の確認



患者さんへの
聞き取りも
お願いします

- 服薬状況 (飲み忘れの有無、残薬の確認など) をご確認ください。
- 消化器症状 (食欲不振、嘔気、下痢など) や皮膚障害、口内炎などの有害事象の有無を確認し、継続投与が可能な状態であるかをご判断ください。
- 気になる症状や検査値の異常がある場合は、速やかに疑義照会してください。

参考情報

経口抗がん剤の投与方法・休薬期間・減量・再開の目安など、詳しい情報は下記をご参照ください。

▶ エスワンタイホウ総合情報サイト

投与方法 | 用法及び用量



https://www.okayama-taiho.co.jp/medical/brand/s1t/guide/gu_02-2.html

▶ エスワンタイホウ総合情報サイト

休薬・減量・再開の目安



https://www.okayama-taiho.co.jp/medical/brand/s1t/guide/gu_10.html

最後に



病院と保険薬局が連携し、患者さんが安全に薬物療法を継続できるよう、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

【お問い合わせ先】

山梨大学医学部附属病院 薬剤部
TEL : 055-273-1111 (代表)